

12月-1月のイベント

 字幕付きプラネタリウム 「月を見上げて」	12/6 ^土 ～12/8 ^月	解説の声と字幕で月を紹介するプラネタリウムの 番組を投影します。	定員:100名 料金:入館料
月イチガク ^⑨  長崎シュガーロード ～銀の道から始まる物語～	12/13 ^土 14:00-15:30	石見銀山の歴史と関わり深い「砂糖の道」を長崎市 の担当者が紹介します。 ※オンラインは無料	要予約 定員:会場20名 料金:入館料
 きっずサンデー	12/21 ^日 1/18 ^日	しまね家庭の日にあわせて、きっずプラネタリウムや デジタル紙しばいなど、キッズ向けイベントが満載の 1日。 ※保護者同伴で小中高生無料	定員:なし 料金:入館料
 さわってみよう！ わくわくワゴン	12/21 ^日 1/25 ^日	ふだんはさわることができない標本ですがこの日は ワゴンに乗って登場！楽しいお話で生き物の不思議 にせまります。	定員:なし 料金:入館料
 お正月イベント	1/2 ^金 1/3 ^土	干支の“午”にちなんだ小展示やミニイベントを開 催します。2日間限定で、特別なドーム番組の上映 も行います。	定員:なし 料金:入館料
雪の三瓶で  アニマルトラッキング	1/25 ^日 9:30-12:00	雪の上を歩きながら、動物の足跡や木の冬芽など を観察します。	要予約 定員:20名 料金:入館料
月イチガク ^⑨  波根に水海ありけり ～消えた湖の記憶～	1/31 ^土 14:00-15:30	近代型干拓の国内第一号となって消滅した波根 湖の歴史を紹介します。 ※オンラインは無料	要予約 定員:会場20名 料金:入館料

要予約 このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに予約を受付します。

 三瓶自然館：0854-86-0500  三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500
(さんべ縄文の森ミュージアム)  三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

※イベントが変更、中止の場合はHP等でお知らせします。

※毎週土曜日の天体観望会は予約制（ホームページから、その他はお電話）で実施しています。

※4～11月の毎週土曜日の「北の原お散歩ツアー」、毎週土、日曜日と祝日の「天文ミニガイド」は、入館された方を対象に
予約不要で開催しています。



大人のための 熟睡 プラ寝タリウム

いつも頑張っているあなたへ贈る、寝ちゃってもいいプラネ
タリウム。ご自身の快眠グッズの持ち込みもできます。リラッ
クスしたひとときをお過ごし下さい。

期 間 : 11. 23^日 ～ 11. 30^日 13:15 ～ 14:15 (11/25は休館日)

参加費：入館料

定 員：100名 ※中学生以上が対象です。



島根県立三瓶自然館サヒメル

○開館時間/9:30～17:00

○休館日/毎週火曜日

(火曜日が祝日の場合は翌平日)

年末年始休館(本年度:12/27～1/1まで)

その他、メンテナンス休館あり



三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団

〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501

<エコサポしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

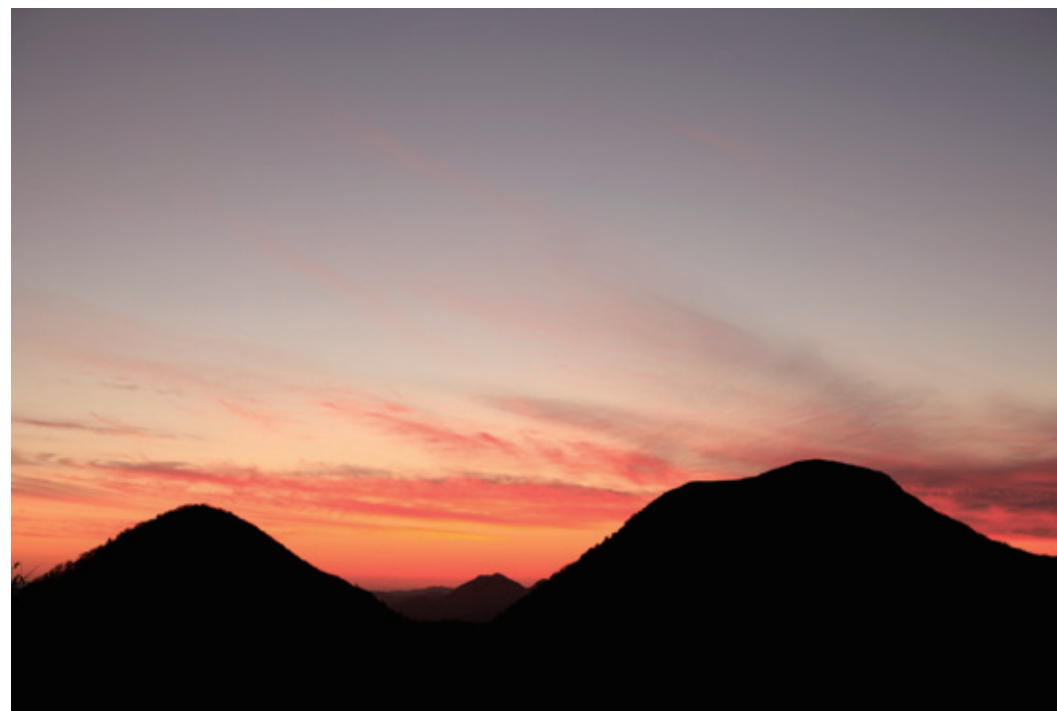
しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。
エコサポしまね(松江事務所)では、地球温暖化対策等の事業を行っています。

Sanbe Field Museum News

さんべ発!

No.193 2025年11月号

島根県立三瓶自然館 ニュースレター



晩秋の夕暮れ

11月後半、夕暮れ時に三瓶山の峰のひとつ
大平山山頂に立つと、陽はすでに沈み西の空
があかね色に染まっていました。シルエットは
右が子三瓶山、左が孫三瓶山、その間に小さ
く見える峰は大田市西部の大江高山。

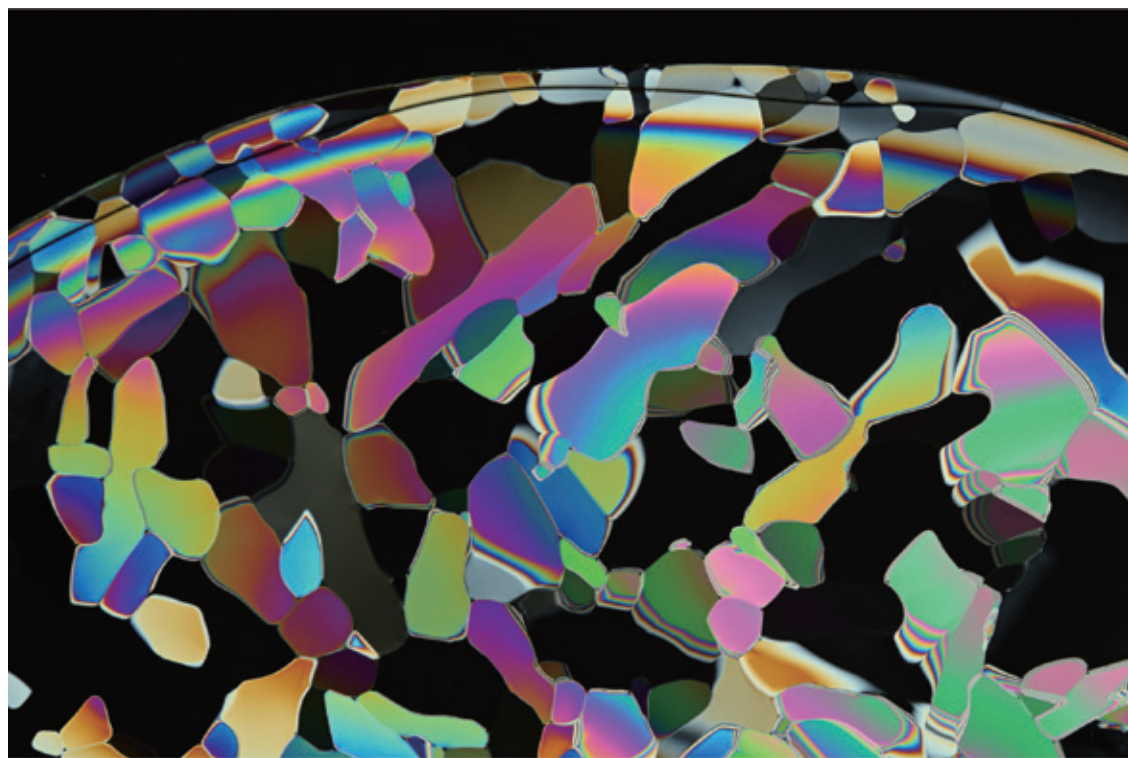
この頃から 12月上旬は、日の入りが一年で
最も早い時期。島根県では 17時前後に日が
沈みます。

東西での日没時刻の違いに気づきやすいの
もこの時期かも知れません。夕方のテレビの

ニュースで東京の街中がライブ中継された時
に、そこに映る空の明るさが自分がある場所
と違うことに疑問を持ったことがないでしょ
うか。東京に比べて島根は日没時刻が約 30分
遅いことで、同じ時刻の明るさが違うのです。

秋は日没後に明るさが残る時間も短く、大
平山で夕焼けを眺めていると、あたりは急速
に暗くなりました。同時に風が冷たくなり、お
そらく気温は0℃前後。空に瞬く星を見届けて、
暗い山道を帰路についた秋の一日でした。

01 冬の企画展・SSP展の紹介



伊知地国夫「薄氷の結晶模様」

今年の冬も、三瓶自然館ではSSP展が開催されます。SSP展とは、「科学の眼で自然と向き合うことの楽しさと感動を多くの方々に届けたい」という願いから、日本自然科学写真協会(SSP)が、毎年開催している写真展で、今年で46回目となります。地形景観、動植物、星空、顕微鏡写真で迫るミクロの世界など、会員が自然の一瞬をとらえた写真の数々を展示いたしますので、心ゆくまでお楽しみください。

(学芸課 今井悟)



飯田能之「オオモンカエルアンコウ幼魚」



戸塚学「ダルマなスズガモ」

三瓶自然館冬の企画展

第46回SSP展 自然を楽しむ科学の眼

休館日：火曜日・12/27-1/1

料 金：大人600円/小中高生200円※幼児無料

2025

12.6(土)

2026

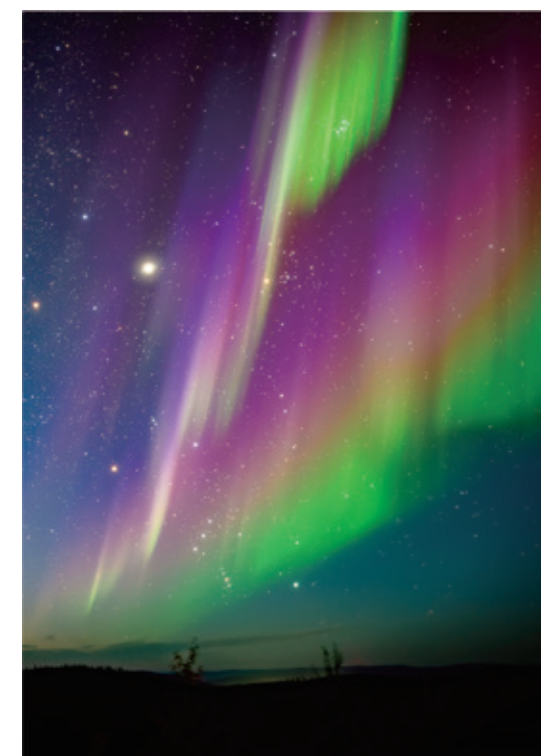
1.12(月)

02 オーロラ上映会の紹介

北極や南極などで見られるオーロラは、赤や緑、紫、黄色などさまざまな色で、しかも、それが大空のレースのカーテンのようにゆらめきながら輝く現象です。オーロラを起こすもとになるのは、太陽から飛び出してくる電子や陽子などの電気を帯びた粒子です。そのため太陽の活動が活発になるとオーロラの活動も高まります。今は太陽活動が高まっていて、2024年5月には国内の広範囲で赤い低緯度オーロラが観測され、話題になりました。

三瓶自然館では、11月22日にオーロラ上映会を開催します。オーロラメッセンジャーの中垣哲也さんがアラスカで撮影された最新のオーロラ映像や、撮影の際に出会った野生の生きものたちのようすについて、お話をさせていただきます。ぜひ、ご参加ください。

(学芸課天文事業室 矢田猛士)



アラスカのオーロラ(撮影：中垣哲也)

要予約

オーロラ上映会

イベント講師



中垣哲也さん

日 時：11.22(土) 13:15～14:45

定 員：100名(要予約) / 申込：一ヶ月前より電話にて受付

参加費：入館料(大人400円/小中高生200円※幼児無料)